

# 図書館だより

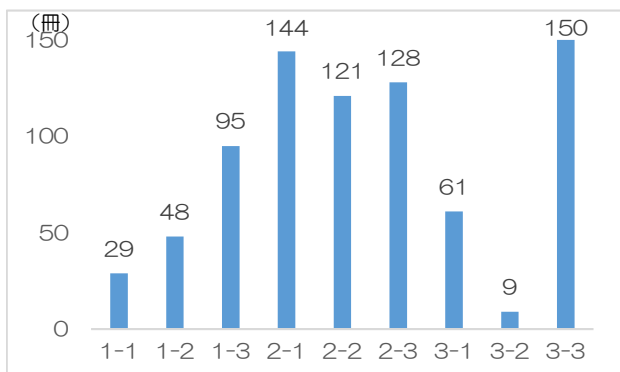
平成 29 年 12 月 21 日 蒲生高校図書館



## 2 学期の統計

2 学期は、どれくらい図書館を利用しましたか？  
冬休みに、貸し出しの多かった人気本をじっくり読みませんか。気になる本は、図書館でどうぞ。  
本は、一人 5 冊まで借りることができます。貸し出し中の本は予約ができますよ。

### ■クラス別貸出統計 (2017.9.1~2017.12.15)



- 1 年生 172 冊
  - 2 年生 393 冊
  - 3 年生 220 冊
- 合計 785 冊

### ■多読者 (2017.9.1~2017.12.15)

55 冊	2-2	末満渚生さん
55 冊	2-3	永吉龍誠さん
39 冊	1-2	池永朋讓さん
39 冊	1-3	田中恵さん
37 冊	2-1	萩原優香さん
25 冊	2-1	福原柁平さん
22 冊	2-1	郡山紀香さん
21 冊	3-3	野下光貴さん
18 冊	2-1	東蒼さん
18 冊	3-1	中納雄斗さん
18 冊	3-3	前田美紀さん



### ■貸出の多かった人気本 (2017.9.1~2017.12.15)

『君は月夜に光り輝く』 佐野徹夜  
大切な人の死から、どこか投げやりに生きている僕。高校生になった僕のクラスには、「発光病」で入院したままの少女がいた。月の光を浴びると体が淡く光ることからそう呼ばれ、死期が近づくとその光は強くなるらしい。



『夕星の下、僕らは嘘をつく』 八谷紬  
他人の言葉に色が見え、本当の気持ちがわかってしまう…。そんな特殊能力を持つ高校 2 年生の晴は、両親との不仲、親友と恋人の裏切りなど様々な悲しみを抱え不登校に。  
冬休みを京都の叔母のもとで過ごすべく単身訪ねる途中、晴はある少年と偶然出会う。  
だが、彼が発する言葉には不思議と色がなかった。



『消えていく君の言葉を探してる。』 霧友正規  
幼い頃から彼女は物語が好きだった。そして、いつの頃からか、俺は小説を書くようになっていた。  
自作を二人で読みながら、共に成長していく日々。けれどある時、彼女は“言葉”を失っていく病であることを知って…。



『神様の願いごと』 沖田円  
夢もなく将来への希望もない高 2 の七槻千世。ある日の学校帰り、雨宿りに足を踏み入れた神社で、千世は人並外れた美しい男と出会う。彼の名は常葉。この神社の神様だという。  
無気力に毎日を生きる千世に、常葉は「夢が見つかるまで、この神社の仕事を手伝うこと」を命じる。



『桜のような僕の恋人』 宇山佳佑  
カメラマン見習いの晴人と、新米美容師の美咲。恋に落ちた二人だが、美咲は人の何十倍もの早さで年をとる難病を発症する。しかも、治療法はないと告げられ…。



- 『ケーキ王子の名推理 2』 七月隆文
- 『はなだより』 深町なか
- 『ダイナー』 平山夢明
- 『呪い遊び』 Saori
- 『天国への郵便配達人』 北川悦吏子
- 『もも、たま、いろ。』 美嘉
- 『文豪ストレイドッグス』 朝霧カフカ
- 『か「く」「し」「ご」「と」「」』 住野よる
- 『スマホを落とすだけなのに』 志駕晃
- 『十二大戦』 西尾維新
- 『君が電話をかけていた場所』 三秋緋
- 『汚れた赤を恋と呼ぶんだ』 河野裕
- 『下鴨アンティーク』 白川紺子
- 『夜宵』 柴村仁
- 『世界の神々と神話事典』 学研プラス
- 『いつか別れる。でもそれは今日ではない』 F
- 『残り全部パッケージ』 伊坂幸太郎
- 『ハッピー・レボリューション』 星奏なつめ



人気本は、みなさんと同世代が主人公の物語、特殊能力を持っている主人公の物語、本の表紙のデザインで選ばれているものが多いようです。

## 冬休みの図書館利用について

- 1 人 5 冊、1 月 11 日 (木) まで貸出
- 冬休み中の閉館日、利用時間の変更は、図書館の入り口に掲示してお知らせします。

返却期限の過ぎた本は、冬休み前に、速やかに返却してください。

万が一、汚損や紛失した場合は、図書館へ連絡をお願いします。

特に 3 年生は、高校生活も残り少なくなってきました。うっかり返し忘れていない本がないか確認をお願いします。

